

SIIG 社 USB カード (DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe)、  
Tech Source 社 グラフィックカード(GFX 550e)、  
Rextron 社 KVM コンソール・ドロワ(Model HKS10) と  
SPARC Enterprise M4000 の  
接続検証結果報告書

株式会社 昌新  
技術部

1. 作業実施概要

SIIG 社の USB インタフェースカード **DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe** と、Tech Source 社のグラフィックカード **GFX 550e** と、Rextron 社 KVM コンソール・ドロワ Model **HKS10** と、**SPARC Enterprise M4000** との 接続・動作確認を実施致しました。

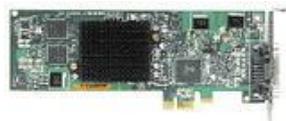
2. 被検証装置

品 名	型名	記 事
富士通 UNIX サーバ	SPARC Enterprise M4000	Solaris(TM) 10 SunOS Release 5.10
USB インタフェースカード DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe	JU-P40112-S1IS	RoHS 対応
グラフィックカード Raptor GFX 550e	19-0156-02IS	RoHS 対応
KVM コンソール・ドロワ Model HKS10	REX/HKS10-IUM8D	RoHS 対応

SPARC Enterprise M4000



USB PCIe Interface Card  
DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe



Raptor GFX 550e



REX/HKS10-IUM8D

### 3. 作業期間

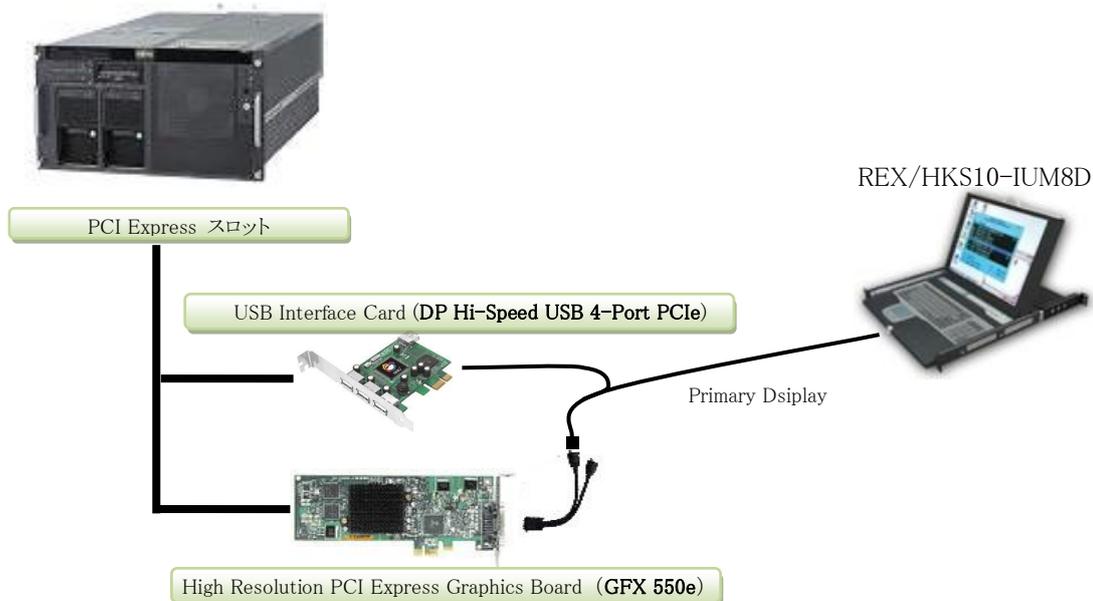
2010年3月17日

### 4. 作業場所

Platform Solution Center 30F Server Room 30-1

### 5. 実施システム構成(概要)

#### SPARC Enterprise M4000



- (1) USB Interface Card (DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe)
- (2) High Resolution PCI Express Graphics Board (GFX 550e)
- (3) Primary Display , K/B, Mouse (REX/HKS10-IUM8D )
- (4) SPARC Enterprise M4000 (Solaris(TM) 10 SunOS Release 5.10)

### 6. 検証項目

- (1) SPARC Enterprise M4000 を起動し、OS 起動完了後、
  - ① USB インタフェースカードに接続した USB キーボード/マウス が認識できる事。
  - ② グラフィックカード GFX550e が認識できる事。
- (2) X-Window を起動し、画面が HKS10-IUM8D の LCD 画面で、X-Window ログイン画面が確認出来、キーボード・マウスから操作できる事。

## 7. 接続手順

次の手順により、SPARC Enterprise **M4000** と接続します。

- a. SPARC Enterprise **M4000** の電源を OFF します。
- b. USB インタフェースカード<sup>1</sup> を **M4000** の PCI Express スロットに挿入します。
- c. グラフィックカード GFX 550e を **M4000** の PCI Express スロットに挿入します。
- d. GFX 550e ビデオ信号出力コネクタへ、REX/HKS10-IUM8D 専用ケーブルのコンピュータ側ビデオ入力コネクタをアナログアダプタ経由で接続します。
- e. USB インタフェースカード<sup>1</sup> の USB コネクタへ、REX/HKS10-IUM8D 専用ケーブルの USB キーボード/マウス の USB コネクタ とを接続します。
- f. REX/HKS10-IUM8D 専用ケーブルの HKS 側を REX/HKS10-IUM8D 入力側へ接続します。
- g. **M4000** の電源を ON し、OK プロンプトから、“boot -r” で、起動します。
- h. **root** でログイン後に、グラフィックカード GFX 550e のドライバーソフトウェアをインストールします。

## 8. 検証結果

- (1) USB インタフェースカード **DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe** の認識、及び、グラフィックカード GFX 550e の認識は、SPARC Enterprise **M4000** 起動後、prtconf コマンド結果から確認致しました。

※GFX550e ドライバー未インストール時の prtconf コマンド結果

```
|
pci, instance #2
  pci, instance #3
    TSI,mko (driver not attached)  <<<認識 OK   GFX 550e ドライバー未インストール
pci, instance #1
  pci, instance #2
    usb, instance #0
    usb, instance #1
      device, instance #0
        keyboard, instance #0      << 認識 OK   USB キーボード
        mouse, instance #1        << 認識 OK   USB マウス
    usb, instance #0
```

- (2) X-Window を起動し、グラフィックカード GFX550e 経由 HKS10-IUM8D の LCD モニターと、キーボード・マウス とで、X-Window システム を操作出来る事を確認致しました。

グラフィックカード GFX 550e ドライバーソフトウェアのインストール後に、X サーバ設定ファイルで、X サーバ設定ファイルを置き換えます。

```
# cd /usr/dt/config
# cp Xservers Xservers.org
# cp Xservers.mko Xservers
```

次に M4000 を “# reboot -- -r” でリブートします。OS 起動完了後に、X-Window が起動され、HKS10-IUM8D の LCD 画面に X サーバログイン画面が表示され、HKS10-IUM8D のキーボ

ード、マウスから、ログインできる事を確認致しました。

- (3) 起動した X-Window のキー入力に関して、HKS10-IUM8D キーボードのキー配列を、英語キー配列仕様に設定して起動した場合でも、日本語キー配列仕様に変更して起動した場合でも、設定されたキー配列仕様に一致した文字入力ができる事を確認致しました。

HKS10-IUM8D のキー配列仕様を変更するには、”kbd -s”コマンドで調べたシステムに登録されているキーボード名を /etc/default/kbd ファイル内の layout 行の “layout=”以降に定義することで変更します。検証用に再定義したキーボード名は、”Japanese” と”US-English” です。

## 【制限事項】

- ① サーバー起動時のシステムコンソールは、XSCF 経由でのシステムコンソールとなります。システムコンソールの入出力に、グラフィックカード GFX550e 出力と、キーボード入力を設定する事は出来ません。
- ② 今回の結果をもって M5000 も可としますが、M8000、M9000 につきましては対象外となります。
- ③ HKS10-IUM8D のキーボード配列( 英語キー配列 or 日本語キー配列 )は、ご注文される際に、ご指定ください。

## ※ ご注意

動作確認が取れている組み合わせは、

弊社 USB カード(DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe)、

弊社グラフィックカード(GFX 550e)、

弊社 KVM コンソールドロア(REX/HKS10-IUM8D)

となります。これ以外の組み合わせにつきましては動作保障致しかねますが、まずは下記連絡先にお問い合わせ下さい。

## お問合せ先

株式会社昌新

情報システム営業部 (担当: 浅利)

TEL:03-3270-5926

E-mail: [IS@shoshin.co.jp](mailto:IS@shoshin.co.jp)

URL: <http://www.shoshin.co.jp/c/tsi/index.html>

以上